

目が見えにくく なられた方々へ



このリーフレットには、視覚障害に関して相談できる岡山県内の施設を掲載しています。

それぞれの案内をお読みになり
まずは、どこかへお電話を！

発行：岡山県視覚障害を考える会
事務局(奥村方) TEL 086-241-4571
FAX 086-241-4572
okayama-ssk2@mtf.biglobe.ne.jp

共催：公益社団法人 日本眼科医会
後援：岡山県眼科医会

(2012 年 6 月発行)

岡山大学病院 眼科 ロービジョンクリニック

☎ 086-235-7297
＜火曜と木曜の13～14時＞

拡大・遮光などの視覚補助具等で見えにくさに対応します。福祉制度を紹介し、その利用を援助します（診断書の発行やサービス案内）。就学・就労等進路相談を受けます。日常生活や家事等の不自由に対して簡単な助言をします。その他、生活訓練・職業訓練等の関連施設、用具販売所、ボランティアグループ、仲間が集える場、情報入手方法等を紹介します。

電話ではご相談を受けられないため、上記の時間帯に電話で1人2時間枠の予約を取り、外来を受診してください。お電話の際に、困っておられること等、相談されたい内容をお知らせください。

なお、他院からのご紹介状は無くても受診できますが、あれば助かります。

所在地：岡山市北区鹿田町2-5-1

岡山県立岡山盲学校 (視覚障害教育相談支援センター)

☎ 086-272-3165
＜平日の9～17時＞

見えにくい、見えないために学習が困難な方のための学校です。小学部・中学部・高等部（普通科・理療科）があります。理療科ではあんま・鍼灸の職業教育を行っており、成人の方も学んでいます。入学金・授業料は不要で、寄宿舍・スクールバス等で通学支援もしています。

視覚障害教育相談支援センターでは、県内の見ることに困りの方への支援を行っています。主に子育て、幼稚園や小学校・中学校・高等学校での学習・生活等の不安・困りごとについて教育的観点から支援します。

乳幼児の親子教室や保護者交流会も行っています。成人の方についても、入学相談や情報提供を行っています。

所在地：岡山市中区原尾島4-16-53

お願い：矯正視力が両眼とも0.5以下、視野が正常のおよそ半分以下、まぶしさ、夜盲などのために困っていたり、学業、仕事、家事、子育てなどに不安や不自由があったりする人に、このリーフレットをお渡してください。

岡山県視覚障害者センター (点字図書館)

☎ 086-244-1121

<火曜・祝日以外の9～17時>

e-mail:ossfc@nifty.com

視力が低下すると今後のことを考え、大変焦りますが、当センターではいろいろな情報を提供し、そのような不安が軽減されることを支援します。

県下の視覚障害者を対象とした情報提供施設で、主な業務は図書の貸出しと諸種の情報提供です。

図書には録音図書と点字図書があり、多くがデジタル化されていて、全国では1万人以上がネットで利用しています。

中途視覚障害者の相談事業、音声パソコン講座の開催、便利グッズの展示、ボランティアの養成も行っています。

所在地：岡山市北区西古松 268-1

※大元駅西口から点字ブロックに沿い南南西へ
徒歩5分／西古松バス停から徒歩1分

NPO 法人 岡山県視覚 障害者自立支援センター

☎ 086-250-8278

<9～18時>

e-mail:info@ovssc.sakura.ne.jp

当センターは、岡山県在住で視覚に障害を持つ方々の「自立」と「社会参加」を支援するNPO法人です。また視覚障害リハビリテーションが岡山県内で受けられるようになることを目指して活動しています。

現在の主な活動は以下の通りです。

- 各種相談受付、情報の発信
- 視覚障害者向けの福祉機器、生活に便利な品物等の展示、体験と販売
- パソコン講座
- 障害福祉サービスの提供
- ガイドヘルパー養成と研修

所在地：岡山市北区奉還町 2-9-3

※奉還町商店街の中央部北側
<火・金は電話とメールのみ受付可>

くらしき健康福祉プラザ 視能訓練室

(対象：倉敷市民のみ)

☎ 086-434-9885

<火～土曜の9～17時>

福祉分野の視能訓練士が 支援します！

視能訓練士は保有視機能の活用を指導する専門職（国家資格）です

● 自分で[できる]方法があります

見えにくいと日常生活全般に影響します。今の見え方で自分らしい生活ができるように専門的に支援します。

● 地域で生き生きと生活ができるよう 提案します

家族や地域の方々からの相談に応じて専門的なアドバイスをします。

視能訓練士が、自宅・病院・福祉施設等へ訪問することもできます。

所在地：倉敷市笹沖 180

お願い：矯正視力が両眼とも0.5以下、視野が正常のおよそ半分以下、まぶしさ、夜盲などのために困っていたり、学業、仕事、家事、子育てなどに不安や不自由があったりする人に、このリーフレットをお渡してください。